

令和5年度 決算 報告

【一般会計決算状況】

区分	令和5年度	令和4年度	差引額	増減率
歳入(収入)総額	90億8,861万円	93億5,079万円	▲2億6,218万円	▲2.8%
歳出(支出)総額	87億9,852万円	89億7,290万円	▲1億7,438万円	▲1.9%
歳入歳出差引額 ①	2億9,009万円	3億7,789万円	▲8,780万円	▲23.2%
翌年度への繰越財源 ②	8,504万円	1億7,203万円	▲8,699万円	▲50.6%
実質収支 ①-②	2億505万円	2億586万円	▲81万円	▲0.4%

【特別会計決算状況】 一般会計とは別に、独立して経理を行う会計

会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	18億1,349万円	17億6,101万円	5,248万円
学校給食特別会計	6,071万円	6,071万円	0万円
農業集落排水事業特別会計	9,185万円	3,511万円	5,674万円
介護保険特別会計	17億1,538万円	16億4,451万円	7,087万円
後期高齢者医療特別会計	2億5,882万円	2億5,487万円	395万円
水道事業会計	2億2,183万円	1億8,302万円	3,881万円
病院事業特別会計	17億275万円	17億2,516万円	▲2,241万円

(水道事業会計・病院事業特別会計は収益的収支を記載)

◆健全な財政状況

実質収支は黒字であり、健全化判断比率の全ての指標が健全化への取り組みが必要な基準(早期健全化基準、経営健全化基準)を大幅に下回っているため、健全な財政状況を維持しています。実質公債費比率が高いと町財政に対する借金の負担が多いということになりますが、令和4年度より1.2ポイント上昇したものの、10年間で11.8%から5.4%へと改善しています。今後も、新文化拠点(図書館)整備事業や高知県管理型産業廃棄物最終処分場建設に伴う地域振興策等に係る事業の財源として町債を借り入れる予定ですが、町債の償還金の一部が地方交付税として国から交付される有利なものを活用する等、一時的に償還額が増加するものの今後の償還金が町の財政に大きく影響を与えることはない見込んでいます。

また、基金は財政運営を計画的に行ったり、特定の目的のために積立や取崩を行ったりするもので、令和5年度は今後の施設整備・改修に備えて、施設等整備基金へ約2億円を積み立てました。今後も健全な財政運営を行っていくため、適正な基金残高の維持に努めます。

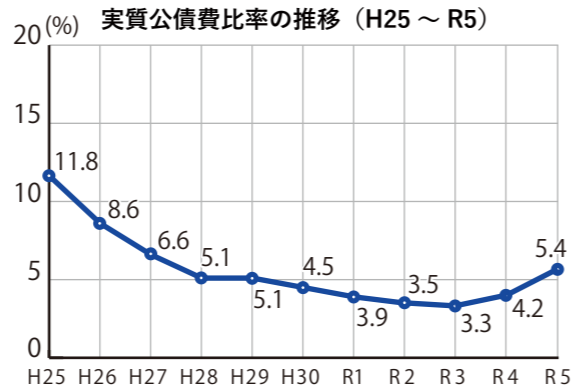
【基金(貯金)残高】

会計名	令和5年度	令和4年度	差引額	増減率
一般会計	64億4,446万円	59億8,526万円	4億5,920万円	7.7%
(うちふるさと納税寄附金基金)	4億9,743万円	4億6,598万円	3,145万円	6.7%
国民健康保険特別会計	7,925万円	7,484万円	441万円	5.9%
農業集落排水事業特別会計	0万円	5,675万円	▲5,675万円	▲100%
介護保険特別会計	3億5,587万円	3億196万円	5,391万円	17.9%

※引き上げ分の地方消費税交付金(社会保障財源化分)が充てられる社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費については、町ホームページにて公表しています。

財政健全化判断比率

指標	内容	佐川町	危険信号
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	早期健全化基準 15%
連結実質赤字比率	すべての会計の赤字の割合	赤字なし	20%
実質公債費比率	年間の借返済額の割合	5.4%	25%
将来負担比率	将来に負担が見込まれる負債の割合	該当なし	350%



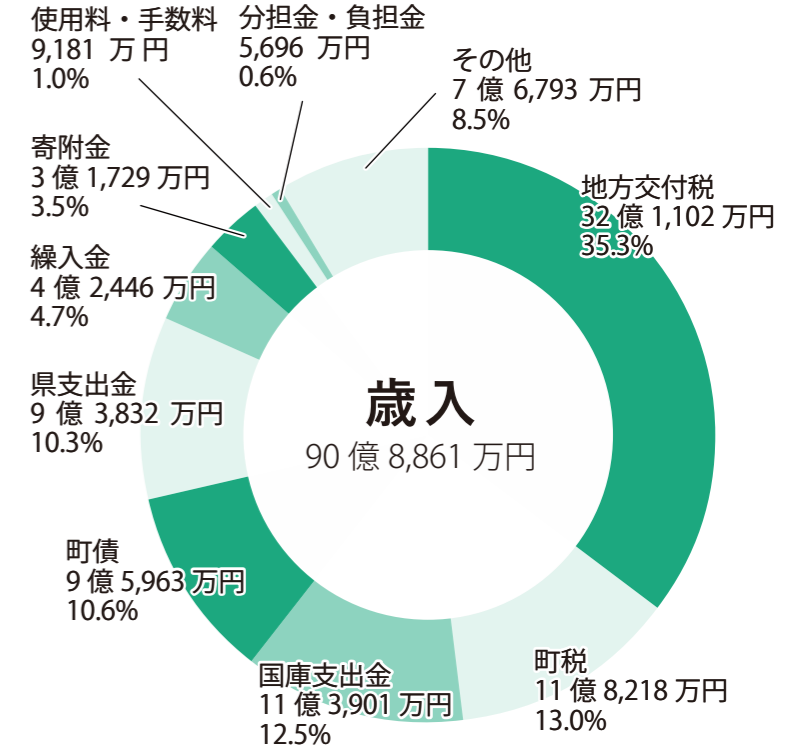
令和5年度は、道の駅建設工事が完了し、「まきのさんの道の駅・佐川」、「佐川おもちゃ美術館」が開業しました。「らんまん」効果による多くの来町者を迎えるため牧野博士の関連イベントを実施する等、観光振興、産業振興につなげる取り組みを行いました。

また、令和6年4月に開所した放課後児童クラブ(ナウマンクラブ)施設整備工事や令和6年12月の開館に向けて新文化拠点(図書館)建設工事を行っています。

歳入のポイント

地方交付税は、普通交付税及び特別交付税の増により、令和4年度より6,294万円増加しました。

また、町債は、佐川町道の駅整備事業費の減により、2億4,748万円減少しました。国庫支出金は、農山漁村振興交付金等の減により、3億4,406万円減少しました。



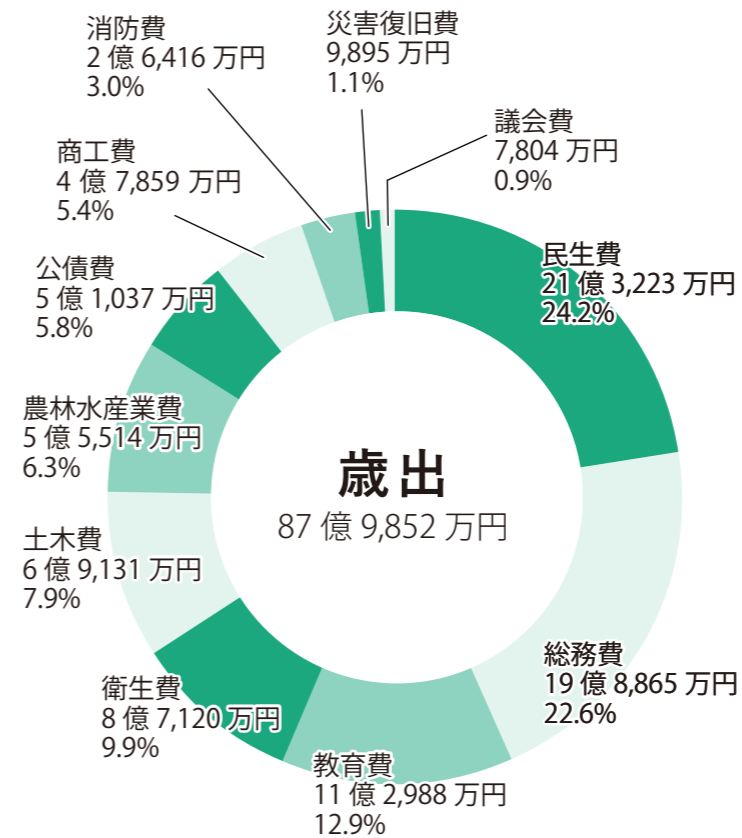
<歳入>用語の解説

- ・地方交付税…財政力に応じた国の交付金
- ・町税…町民税・固定資産税
- ・国庫支出金…国からの交付金・補助金
- ・町債…長期借入金
- ・県支出金…県からの交付金・補助金
- ・繰入金…特別会計繰入金・基金繰入金
- ・使用料・手数料…住宅使用料・施設使用料
- ・分担金・負担金…保育所負担金・工事負担金
- ・その他…地方譲与税・諸収入等

歳出のポイント

教育費は、新文化拠点(図書館)建設事業や放課後児童クラブ施設整備事業費の増により、令和4年度より3億5,398万円増加しました。

また、商工費は、道の駅整備事業や牧野富太郎博士顕彰事業の減により、6億7,404万円減少しました。



<歳出>用語の解説

- ・民生費…高齢者福祉・保育所
- ・総務費…財産管理・選挙
- ・教育費…小中学校・文化施設
- ・衛生費…予防接種・ごみ処理
- ・土木費…道路・住宅の維持改良
- ・農林水産業費…農林業振興・施設整備
- ・公債費…借入金の返済
- ・商工費…観光・商工振興
- ・消防費…防災対策・消防活動
- ・災害復旧費…農林・公共施設災害
- ・議会費…議員報酬・議会運営

令和5年度の 主な事業

放課後児童クラブ(ナウマンクラブ)施設整備工事

1億2,967万円

佐川小学校放課後児童クラブ「ナウマンクラブ」を新築し、令和6年4月に開所しました。

より多くの児童が安心して遊び・生活できる場を提供し、子育て支援の充実を図りました。



佐川町新文化拠点(図書館)整備事業

2億6,993万円

令和6年12月の開館に向けて、図書館機能と学びあい機能を持つ佐川町の新しい文化拠点の建設を行っています。まちの「学び合い」の場として、ふるさと力、人間力、未来想像力を育み、大人も子どもも共に楽しく学ぶ場所となることを目指します。



あったかふれあいセンター事業

4,961万円

誰もが気軽に集い必要なサービスを受けることができる地域福祉の拠点として、町内5カ所(尾川、斗賀野、黒岩、加茂、佐川)で地域のニーズ把握や課題に取り組む活動を行っています。

令和5年度は、感染症対策や創意工夫により、コロナで落ち込んでいた利用者の回復がみられました。

また、地域包括支援センター等との状況共有や連携の向上により、利用者支援の質的向上につながっています。



あったかふれあいセンターとかの10周年記念式典

道路橋梁維持費・道路施設修繕事業

4億5,488万円

(うち地域振興策1億9,480万円)

町道や橋梁、トンネルといった道路施設では、老朽化に伴う影響が数多く発生しています。これらの維持・補修・修繕を計画的に行うことで町民の皆様の通行の安全を維持しています。



柳瀬橋から清和病院方面へ町道が拡幅されました

木造住宅耐震化支援事業

9,393万円

南海トラフ地震対策を推進するため、戸別訪問等による積極的なPRを行うほか、所有者が行う耐震診断や耐震補強工事等への補助を行い、着実な住宅耐震化の促進につながっています。

地域公共交通事業

4,254万円

住民の移動手段を確保するため「さかわぐるぐるバス」や路線代替バスを運行しています。

さかわぐるぐるバスは、コロナ禍により利用者数の落ち込みがみられていましたが、現在では利用者数が増加しており、住民の生活の一部として欠かせないものとなりました。

令和5年度のさかわぐるぐるバスの1便当たりの乗車人数は2.69人となり、運行開始から初めて年間利用者数が1万人を超えました。



ぐるぐるバス 乗り方教室の様子

牧野富太郎博士顕彰事業

3,741万円

連続テレビ小説「らんまん」の放送を契機に牧野博士を顕彰する事業を行ったり、町内施設で特別展、スタンプリナー等のイベントを実施しました。

草花ガイドの育成により、多くの観光客に牧野公園の散策を楽しんでいただいたほか、町内の周遊事業に加え、越知町とも連携した周遊活動やPR活動を行ったことで、今後、観光客のリピーターが期待されます。

佐川町道の駅・おもちゃ美術館事業

3億5,132万円

「まきのさんの道の駅・佐川」と「佐川おもちゃ美術館」のオープンに向けた準備や併設する「まきのさんの公園」の整備、運営組織である一般財団法人しあわせづくり佐川の体制を拡充しました。

町内や仁淀川流域の商品を中心とした売り場づくりを実施し、道の駅内で町内米を活用したバウムクーヘンの開発・販売やテナントでも町内産品を活用するなど町内生産者の所得向上にもつながっています。

広報さかわ R6.10 ⑥

◆ふるさと寄附(納税)についてのご報告

ふるさと寄附は、故郷や応援したい自治体に寄附できる制度です。佐川町でも、この制度により、寄附者の拡大、リピーターの確保、返礼品の充実を図り、町のPRや自主財源確保につなげています。令和5年度も多くの佐川町ファンの方に応援していただき、多くの寄附が集まりました。

また、「らんまん」が放送開始したこともあり、全国の方の目に触れる機会が増加し、町のPRを図ることができました。

全国から集まった寄附金は、よりよいまちづくりのために、以下の事業に活用しました。

令和5年度の寄附金総額
3億1,698万3,500円

令和5年度の寄附金件数
1万6,371件

令和5年度にふるさと寄附金を活用した事業

医療・福祉・子育ての充実に関する事業

4,000万円

学校給食特別会計繰出金(学校給食費無償化)、おもちゃ美術館整備委託料

産業・観光の振興に関する事業

3,316万円

道の駅指定管理料、一般財団法人しあわせづくり佐川運営費補助金、園芸ハウス整備事業補助金

教育・文化・スポーツの振興に関する事業

3,308万円

新文化拠点(図書館)関係委託料、工事費

“まちまるごと植物園”への活用

植物学者・牧野富太郎博士のふるさと佐川町で、町民が行っている植物に関わる活動を町全体で植物園に見立てて、植物を通じて人々がつながりあう“植物のまち”を目指した取り組みを進めています。“植物のまち”として、さらなる取り組みを展開していくために、寄附金のうち100円を牧野富太郎博士に関する事業に活用させていただきます。

令和5年度人気のお礼品
申込件数ランキング

第1位



麦藁焼
特選鯉のたたき

第2位



天然酵母
ベーグルセット

第3位



フルーツ定期便

第4位



フルティカトマト

第5位



お野菜定期便